

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成 27 年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 置賜総合支庁

整備区分	針広混交林整備 【 抜き伐り 】				
整備箇所	米沢市大字築沢字助ノ沢 地内			事業主体	山形県
整備面積	8.7ha	樹種	スギ・ザツ	林齢	27年生
整備内容	<p>当該箇所は、長期間管理放棄されたため、草本類や高木性広葉樹などの侵入により造林木の生育が阻害され、人工林として維持することが困難な状態であった。</p> <p>そのため、本事業により強度の抜き伐りを行うことで高木性広葉樹及び造林木の生育空間を確保し、広葉樹と針葉樹が入り交じる森林への促進を図った。</p>				



整備前



整備後

整備区分	長期育成林整備 【 間伐 】				
整備箇所	小国町大字沼沢字間瀬 地内			事業主体	山形県
整備面積	1.7ha	樹種	スギ	林齢	32年生
整備内容	<p>当該箇所は、間伐等の施業が適期に行われなかったため、造林木が過密に生育し、著しく生長の悪い不良木や枯損木が目立つ状態であった。</p> <p>そのため、本事業により適正な密度となるよう間伐を行うことで、スギ林として公益的機能の維持を図った。</p>				



整備前



整備後

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成27年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 置賜総合支庁

整備区分	里山林再生 【 抜き伐り（マツ・ナラ枯れ被害木処理） 】				
整備箇所	米沢市大字遠山字愛宕 地内			事業主体	山形県
整備面積	5.0ha	樹種	ナラ	林齢	56～70年生
整備内容	<p>当該箇所は、『斜平山』として景観的に親しまれると共に神社等の史跡や登山道が維持された広葉樹二次林であるが、数年前からマツクイ・ナラ枯れ被害等による枯損木が急増し、このまま放置すれば二次被害が懸念される状態であった。</p> <p>そのため、本事業により森林病害虫等による枯損木の抜き伐りを行うことで、荒廃した里山林の早期再生と生活環境の保全を図った。</p>				

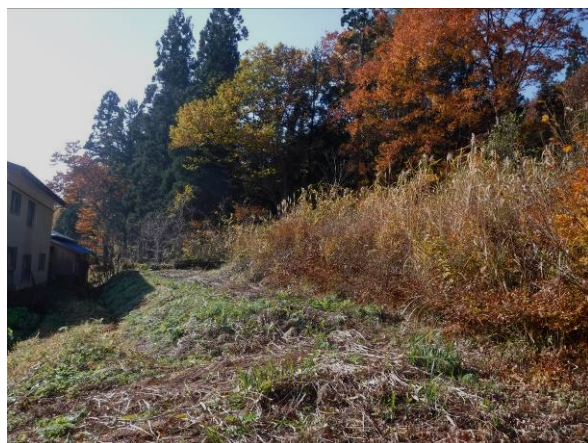


整備前



整備後

整備区分	里山林再生 【 共存林整備 】				
整備箇所	川西町大字大舟字萌沢入 地内			事業主体	川西町
整備面積	1.9ha	樹種	ナラ外	林齢	35～50年生
整備内容	<p>当該箇所は、県道沿いの広葉樹林で、管理不足から灌木等が繁茂しヤブ化した状態となっており、人家裏でもクマの目撃情報が寄せられていた。</p> <p>そのため、本事業により灌木類等の除伐、刈り払いを行うことで、森林内の見通しを確保し、人とクマとの緩衝帯を整備した。</p>				



整備前



整備後